

最終回

TRACING THE ROOTS

旅と手しごと

会期：2024年10月8日（火）～10月13日（日） 会場：代官山ヒルサイドフォーラム



Main Visual : LENA FUJIMOTO

TRACING THE ROOTS

旅と手しごと

Message

“TRACING THE ROOTS” をテーマに各地から集まった表現者ちと共に行う EXHIBITION

それは、多様性に満ちたそれぞれの視点と根源を探る旅。

総勢 200 組を超える参加アーティストと辿った道のりは

まるで関係性に育まれた贈り物のように豊かに実り、

「10 年」という節目の今回、最終回を迎えます。

内なる心の風景を、立体的に巡るワークショップも多数開催し

皆さんのお越しをお待ちしています。

有機的に汲み上げた、豊かな思考の可能性をご覧ください。

阿吽（あうん）

始まりから終わりを表し

生命の起源や宇宙のありように思いを馳せる。

この先も、純粋な光に満ちた新しい景色をみたいと思います。

新しい道へ

さて、皆さんはどこへ行く？

TRACING THE ROOTS 主催

尾見紀佐子 / マザーディクショナリー代表

Concept

先人が通ってきた道を辿ってみる。

むかしむかし、そのむかし そこに在ったこと

土と水と空と光 空をあおぎ 耳を澄ます

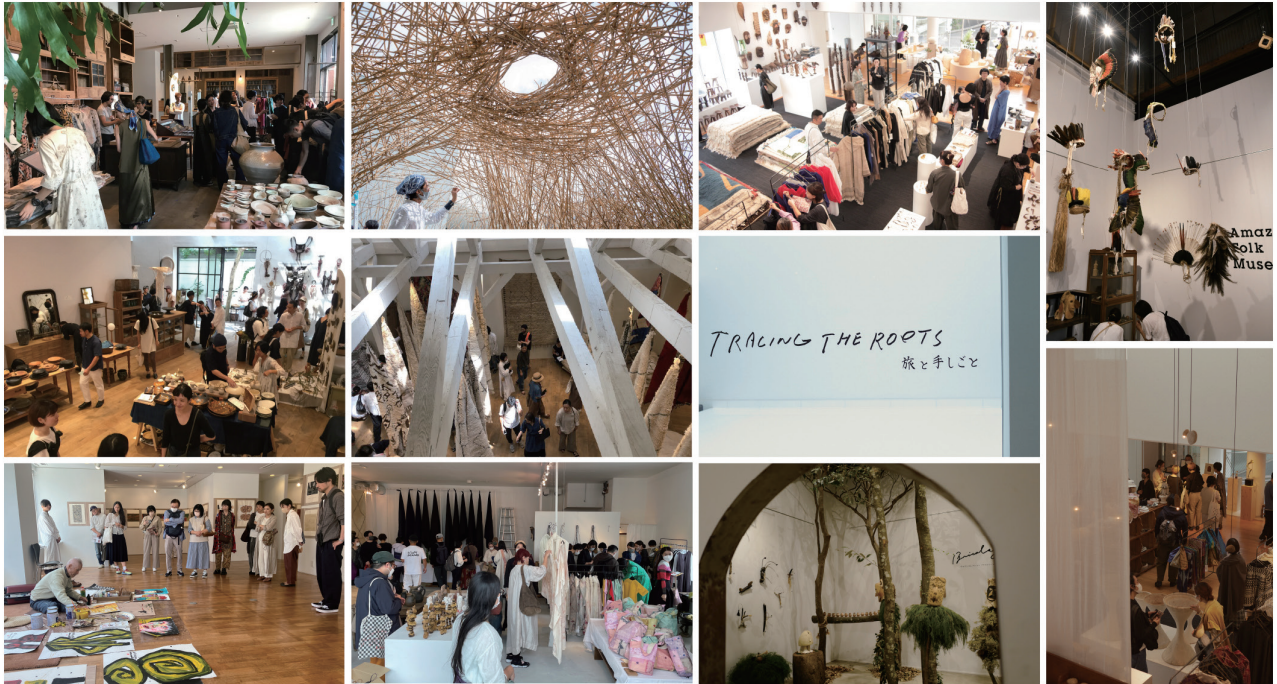
大地の声を聴き 土を耕し 季節のものを食べ 身にまとうものをつくる。

誰かと出会い、身近なものを持ち寄り、ひらめきあって

あたらしいものがうまれる。

世界はひとつにつながっていて

古代から人はそんなことを繰り返してきたのかもしれない。



過去 10 年間の「TRACING THE ROOTS」より

「旅と手しごと」をテーマに各地から集まった表現者とともに行う合同展示会&マーケット「TRACING THE ROOTS 旅と手しごと」が、2024年10月8日（火）～10月13日（日）期間、代官山ヒルサイドフォーラムを会場に開催いたします。本イベントを主催するマザーディクショナリー・代表の尾見紀佐子が、各地を旅するなかで、手しごとを通じて何らかの思いを共有しようとする表現者との出会いからはじまり、彼らとともに作り上げてきた「TRACING THE ROOTS 旅と手しごと」は、今年10年という節目で最終回を迎えます。

初回から参加し主催者と並走するかたちで思考を広げながらイベント盛り上げてくれた表現者たちをはじめ、自然に寄り添いながら丁寧なものづくりをするつくり手、ものごとの根源を探り新たな表現に挑戦するアーティストなど、多様性に溢れた総勢33組が出展。昨年同様に会期を前半・後半と出展者が変わる二部構成で、合同展示会とマーケットが開かれます。また、会場に併設するエキシビジョンルームなどで、本展のキービジュアルを描いたLENA FUJIMOTOの展示をはじめ、金沢健一氏、山内悠氏、黒田雪子氏の4名の作家による展示やインスタレーションを開催。同アーティストや出展者による感覚や思考を広げるワークショップも連日開催します。ぜひ、ご注目くださいますようお願い申し上げます。

TRACING THE ROOTS —旅と手しごと— 2024

会期 | 2024年10月8日（火）-10月13日（日）

時間 | 11:00-18:00 * 金曜 13:00-18:00、日曜 11:00-17:00

会場 | ヒルサイドフォーラム 東京都渋谷区猿楽町18-8

入場 | 無料 * 来場登録制 WEB サイトにて詳細をご確認のうえ登録をお願いいたします。

主催 | マザーディクショナリー <https://motherdictionary.com>

特設サイト | <https://motherdictionary.com/roots2024>

Main Visual | LENA FUJIMOTO

* 本件に関するご取材や掲載については上記までご連絡ください。

【GENERAL CONTACT】

マザーディクショナリー
info@motherdictionary.com

【PRESS SUPPORT】

デイリープレス 川村美帆
mihokawamura@dailypress.org

LINE UP



前半 10.8 (火) - 10.10 (木) 11:00 - 18:00

LIGHT YEARS	紙 石 金属
WONDER FULL LIFE	衣服とアート
COUNTERPOINT	旅から生まれるもの
宝島染工 - thus-	染色
石黒幹朗・YOSHIE ISHIGURO	皮革
O'Tru no Trus	漂流物と真鍮
神ひとケモノ	発掘考古品
久保すすむ	オートマタ (からくりおもちゃ)
久保英祐	オブジェ
十場あすか	陶磁器
空と海	いろいろな人の手から生まれるもの
Tamako Yamada	布オブジェクト、絵
石黒雄大	木器
KAI(甲斐ひろみ)	服、布で出来たもの
Yuko Kan	陶偶、木偶
Vilhelm Hertz / 宮田尚幸	杖
みちくさあん	くさ
高山源樹・Obane	農作物
highcollar	オープンエアファニチャー

後半 10.11 (金) - 10.13 (日) 11:00 - 18:00
 (* 10.11 金 13:00-18:00 10.13 11:00-17:00)

LIGHT YEARS	紙 石 金属
WONDER FULL LIFE	衣服とアート
COUNTERPOINT	旅から生まれるもの
宝島染工 - thus-	染色
浅井万貴子	陶と絵
合田大智	制作、狩猟、養蜂
Vacant	衣服 小物 家具
一泉堂	手彫り印章、水牛装身具
浦上陽介	木と漆
enrica revisité	自然で染めた服
カワダシュウジ - 鹿皮紙と無花果 - 鹿皮の紙	
TSUTO	沖縄の紙
rintaro nonaka	陶磁
樋上純	漆 皮革
松嶋圭	本
藤川孝之	絵とデッサン
warmer warmer	古来種野菜の八百屋
highcollar	オープンエアファニチャー

EXHIBITION

2024.10.8 Tue – 10.13 Sun

Lena Fujimoto Exhibition

会場 | エキシビジョンルーム

それは、自然からのインスピレーションが織りなす、小宇宙。

まるで、あらゆる自然存在の中に宿る根源的なメッセージの一片が顔を出し、心の奥底で振動している何かを探す手がかりのような、作品群。瑞々しい Lena Fujimoto の世界をご覧ください。

Lena Fujimoto

三重県伊勢市生まれ。2003年 渡英後、制作活動をはじめ。自己との対話から素材に身をまかせ、絵、身の回りにある物や自然物を使った立体、クレイ作品など、形態にとられない表現方法で制作。

Instagram : <https://www.instagram.com/lenafujimoto/>



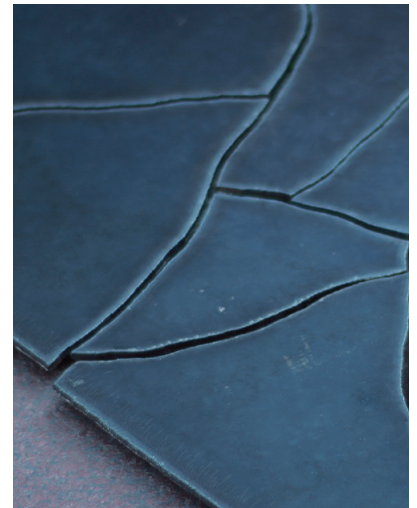
金沢健一 | 音のかけら - 見る音 聴く音 触れる音 -

会場 | Gallery on the hill

彫刻家・金沢健一による音と振動をテーマにした作品を展示・販売。様々な形に溶断された鉄板に潜む音を発見する作品《音のかけら》は実際に触れて音を楽しむことができます。振動の現象であるクラドニ図形を元にしたドローイング作品では振動が作り出す曲線の重なりの中に音や振動を感じてほしいと話します。クラドニ図形のパフォーマンス映像や実際のクラドニ図形の展示を通して、音と振動の世界を堪能ください。

金沢健一 / 彫刻家

工業製品としての金属を素材に、幾何学的な形態による構成的な作品、またそれと並行して、不定形に溶断した鉄板から音を発見する《音のかけら》、振動の物理現象であるクラドニ図形を利用した《振動態》など視覚、聴覚、触覚を結びつける作品を制作する。近年ではマリオネットによる作品も試みている。多くの美術館で展覧会、パフォーマンス、ワークショップを展開している。音楽家や舞踊家とのコラボレーションも多い。



山内 悠 | 残像 -photogene story-

記憶にない写真との対話 そこから見える集合的無意識の世界

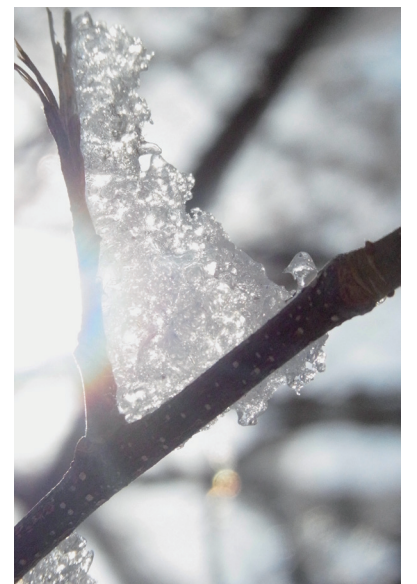
会場 | Gallery 1

自然の中に長期間滞在し、自然と人間の関係性から世界の根源的なありようを探求している写真家・山内悠。《夜明け》《惑星》《自然 jinen》など、山内の作品は、不意に撮影した写真をきっかけとし、それを解釈するために行う山籠りや旅での求道的な行為からの表現が特徴です。本展では、2006年から現在に至るまで、撮影を続ける中で時々出会う「記憶にない写真」を紡いで見えてくる意識から外れた世界を探すプロジェクト「残像 photogene」。山内の20年に及ぶ撮影期間の中で現像やプリントをする中で時々出会う撮影した記憶にない写真たち。それらを鑑賞者によってセレクトしてもらい作品化をするという実験的な試みです。会場ではLサイズの写真を¥1,000で販売し、購入されたイメージは選ばれし「残像」として今後の作品に反映されていきます。

山内 悠 / 写真家

1977年、兵庫県生まれ。自然の中に長期間滞在し、自然と人間の関係性から世界の根源的なありようを探求している。スタジオアシスタントを経て制作活動を本格化。富士山七合目にある山小屋に600日間滞在し制作した作品『夜明け』（赤々舎）を2010年に発表。2014年には、山小屋で暮らし主人に焦点をあて、山小屋での日々を著した書籍『雲の上に住む人』（静山社）を刊行。2020年、モンゴルで5年をかけて撮影した写真を収録した『惑星』（青幻舎）を発表するなど、精力的に活動している。

URL : <https://www.yuyamauchi.com/> | Instagram : https://www.instagram.com/yu_yamauchi/



INSTALLATION

黒田雪子 | 終わりの始まり

会場 | Entrance

エントランスには、「終わりの始まり」と題した、金継師・黒田雪子によるインスタレーションを展示します。

古米に古布に古漆。

スポットライトを浴びなくなったものを集めて、

大きな球体に変換しました。

あらゆるものは流転して、

同じところに止どまることを知らない。

黒田雪子 / 金継師

グラフィックデザインの仕事を経て漆と出会い、その魅力に傾倒する。2007年、金継師としての活動をスタート。2013年、平凡社より『金継ぎをたのしむ』出版。現在は修理としての金継ぎにとどまらない作品制作を中心として、国内外からの依頼を引き受けている。Instagram : https://www.instagram.com/yukiko_krd/



WORK SHOP



金沢健一 | 「振動という出来事」

日程：10.9 (水)

時間：18:30-20:30 (120分)

参加費：8,800円 (税込)

会場：エキシビジョンルーム

* 事前申込制 (申込みは8/15 (木) から)



山内悠 | 「残像 -photogene story -
記憶にない写真を紡ぐ無意識の表象を探す」

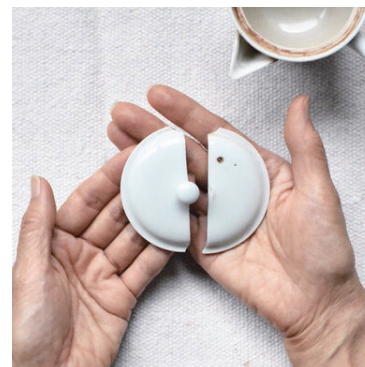
日程：10.10 (木)

時間：18:30-20:30 (120分)

参加費：5,500円 (税込)

会場：エキシビジョンルーム

* 事前申込制 (申込みは8/15 (木) から)



黒田雪子 | 「終わりの始まり～これから大人になる君と考える、器のお直し～」

日時：10.12 (土)

時間：18:30-20:30 (120分)

対象：10歳以上～18歳まで (保護者の見学可)

参加費：8,800円 (税込)

会場：エキシビジョンルーム

* 事前申込制 (申込みは8/15 (木) から)



宮田尚幸 | 「ダイアログ～ルーツを探る旅～」

北欧で幼少期からコミュニケーションの取り方の一つとして、教育に問入れられているダイアログ。相手の気持ちを聴き、自分の気持ちを知る。お互いの意見や気持ちは否定せず、勝手に解釈もしない。宮田尚幸主催のDialogrum (ダイアログラム / 対話の場) というワークショップは、いくつかの暗黙の了解という基本ルールの中で、あるテーマをもとにダイアログを体験します。

日程：10.11 (金)

時間：18:30-20:30 (120分)

参加費：3,850円 (税込・お茶、お茶菓子つき)

会場：エキシビジョンルーム * 事前申込制 (申込みは8/15 (木) から)

* WORKSHOPは事前申込制となります。8/15より申し込みスタート。先着順となりますので、詳細はHPをご覧ください。